

令和6年2月19日

多賀城市議会議長 殿

会派等名 公明党多賀城市議団

代表者名 根本朝栄



調査研究報告書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。

記

1 報告者（参加者）

- (1) 代表 根本朝栄 (4) (印)
- (2) 阿部正幸 (5) (印)
- (3) 齋藤裕子 (6) (印)

2 調査研究の概要

□調査期間：令和6年2月9日（金）～令和6年2月11日（日）

□調査目的：今年、多賀城創建1300年を迎える本市において開催が予定されている記念事業等に対し、実効性のある提案を行うため

□調査手法：視察調査

□行程又は日程：添付行程表のとおり

□調査先及び調査事項

調査日時	調査先	調査事項及び現地視察の有無
2月10日（土） 9:30～11:30	福岡県太宰府市 九州国立博物館	①歴史・文化施設等の現地調査
2月10日（土） 12:30～20:30	福岡県太宰府市・福岡市 太宰府政庁跡 太宰府天満宮文書館 九州国立博物館 ホテル日航福岡	令和の万葉大茶会関連行事の開催状況等 現地調査（多賀城創建1300年記念事業） ①太宰府政庁跡 記念式典 ②太宰府天満宮文書館 令和の万葉大茶会 ③九州国立博物館 記念講演 ④ホテル日航福岡 交流会
11日（日） 10:00～11:30	福岡県福岡市 福岡アジア美術館	①世界遺産 大シルクロード展の現地調査 （多賀城創建1300年記念事業）

□調査資料：添付調査先作成資料のとおり



3 調査の概要

別紙のとおり

4 所感（今後の市政に資する点）

別紙のとおり

宮城県多賀城市議会 会派行政視察等 行程表

<調査研究用>

会派名「公明党多賀城市議団」

■日 程：令和6年2月9日（金）～ 2月11日（日）

日 程	行 程
<1日目> 2月9日（金）	多賀城市役所発（自家用車）14：00 → 仙台空港発 16：15（飛行機）→ 福岡空港 18：20 着→ 福岡空港 18:37 発（地下鉄）→天神駅 18:49 着(徒歩) 19:00 発→西鉄福岡駅 (鉄道) 西鉄二日市駅 19:14 着 → 西鉄二日市駅 19:18 発（鉄道）太宰府駅 19:23 着→(タ クシー) ホテル着 19：30
	■宿泊：ルートイングランディア太宰府（福岡県太宰府市連歌屋3丁目8-1） ☎050-5576-7903
<2日目> 2月10日（土）	ホテル発9：20（タクシー）九州国立博物館9：30着 【現地調査】九州国立博物館前 12:07 発（西鉄バス）→太宰府市政庁跡 12：20着 【現地調査】→太宰府駅 18:10 発 （西鉄バス）→博多バスターミナル 18:52 着 →（シャトルバス）→ホテル日航福岡 19:00 着 【現地調査】ホテル日航福岡 21:00 発（タクシー）西鉄福岡駅 21:05 着→（鉄道） 西鉄二日市駅 21:25 着 →西鉄二日市駅 21:33 発（鉄道）→太宰府駅 21:39 着 →(タクシー)ホテル 21:35 着
	■宿泊：ルートイングランディア太宰府（福岡県太宰府市連歌屋3丁目8-1） ☎050-5576-7903
	■調査事項等 令和の万葉大茶会関連行事の開催状況等現地調査 【多賀城創建1300年記念事業】
<3日目> 2月11日（日）	ホテル発9:00→(タクシー)太宰府駅9:20 発 →(鉄道) 西鉄二日市駅 9:27 着 西鉄二日市駅 9:41 発→（鉄道）→西鉄福岡駅着 9:55 着 →中洲川端駅→ 福岡アジア美術館 10:05 着 【現地視察】福岡アジア美術館 11:05 発（徒歩）→中洲川端駅 11:22 発(鉄道) 福岡空港 11:33 着 福岡空港 14：00 発（飛行機）→仙台空港 15:40 着→（自家用車）多賀城 市役所 17：00 着
	■調査事項：世界遺産 大シルクロード展 【多賀城創建1300年記念事業】

3 調査の概要

「令和」は、日本最古の歌集である万葉集を典拠とし、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められて制定される。

万葉集の編纂者とされる大伴家持の父である大伴旅人が長官と赴任していた時、当時はめずらしかった梅の花を愛で、32種の歌を詠みあった「梅花の宴」は、まさにうるわしいひとときであった。

太宰府大会は、まさに「梅花の宴」が行われた場所であり、ルーツとなる地である。

太宰府大会は、太宰府でしか実現できない「令和の都 太宰府での梅の宴再現」イベントの実施、「令和の大茶会開催」を二つの軸に、今後の日本の経済を支える観光業への取り組みを強化して実施された。

2月10日は、記念講演の会場となった九州国立博物館は、東京、奈良、京都に次ぐ4番目の国立博物館として、2005年に開館し「日本文化の形成をアジア史的視点から捉える」をコンセプトにしている。また「学校より面白く、教科書より分かりやすい」を目標に日々活動している。

テーマは「海の道、アジアの路」で「1.縄文人、海へ」「2.稲づくりから国づくり」「3.遣唐使の時代」「4.アジアの海は日々これ交易」「5.丸くなった地球 近づく西洋」の5つのテーマがある。

太宰府政庁跡で開催された式典は、関係自治体の方々が出席し、続いて「梅花の宴」イベント、太宰府天満宮文書館において、令和の万葉大茶会、九州国立博物館で2名による基調講演がおこなわれ、最初のテーマは、「令和のふるさとで未来を観る」続いて「旅人と家持」のテーマで開催された。

最後に、関係市町村によるプレゼンテーションでは、多賀城市長が「多賀城創建1300年」をアピールし、福岡県知事から多賀城市長へ大会キー伝達式があり閉会。

終了後は、ホテル日航福岡へ移動し、レセプションが行われました。

11日は、多賀城創建1300年記念事業として、4月から6月まで東北歴史博物館で開催される世界遺産「大シルクロード展」が、福岡アジア美術館で開催されていたため現地調査を行う。

東洋と西洋を結ぶシルクロードは、地球の四分の一の一周にも及ぶ壮大な「旅路」で、古代から交易の路として栄え、各地で多彩な民族が興亡し、多彩な文化が開花してきた。遣唐使など日本との縁が深い唐時代を中心とした品が紹

介されるとともに、2014年に世界遺産に登録された遺跡の遺品も展示されていた。

4 所感

2024年に「令和の万葉大茶会」を担当する多賀城市として、今回の太宰府大会の視察調査は大変参考になりました。

多賀城創建1300年の記念事業とあわせて本市で開催する重要な意義あり、大伴家持に所縁がある皆様に歓迎して開催するにあたり、会場や運営につきまして検討しなければいけない課題もあると思いました。

また、「令和の万葉大茶会」の素晴らしい取り組みを関係市町村のみではなく、多くの皆様へ周知した取り組みも重要です。

世界遺産「大シルクロード展」は、世界遺産認定後、中国国外で初めて行われる大規模展を視察し、今年の4月から6月まで東北歴史博物館で開催されるにあたり、多賀城創建1300年事業としての開催となるため、多くの市民にPRしていきたい。

令和5年度

令和の万葉大茶会 太宰府大会
事業計画書（案）

（実行委員会内部打ち合わせ用）

令和5年12月18日版

令和の都だざいふ万葉大茶会実行委員会

令和の万葉大茶会

新元号「令和」の典拠となった万葉集「梅花の宴」を再現する

このプロジェクトは、日本最古の歌集たる万葉集、その編纂者とされる「大伴家持」の生涯にクローズアップします。幼少期に父である大伴旅人が赴任した地・大宰府にて、舶来の梅を植え、その梅花を愛でる酒宴を興じ、新元号「令和」の典拠ともなった「梅花の宴」を茶会形式で再現致します。記念すべき第1回は、2020年、東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、国の特別名勝・特別史跡に指定されている会場周辺の中央区・浜離宮恩賜庭園で実施されました。

その後は、家持の人生ステージごとに、赴任地である富山県高岡市（2021年度・秋）→鳥取県鳥取市（2022年度・冬）→福岡県太宰府市（2023年度）→宮城県多賀城市（2024年度）と巡り、最後は関西地域ゆかり（大阪府・奈良県明日香村）の大阪万博（2025年度・没後 1240年）での開催を目指します。特に多賀城市は、2024 年に「多賀城創建 1300年」を迎え、東日本大震災からの復興の意味でも象徴的イベントとなります。

実に万葉集では、約4500首のうち、1700首以上で動植物の歌が詠まれており、まさに三首に一首が、ありのままの自然に心を寄せた歌です。家持は、特に季節を意識して歌を詠んだ歌人であり、全20巻のうち、巻八と巻十は、「四季の景物」をテーマに編纂された巻となっています。また、家持の生きた時代は万葉時代の最後期、天平文化華やかかなりし時代ですが、一方で権力争いも続いた時期です。そのため、万葉集には、北九州の防衛について「防人歌」や東国庶民の「東歌」といった、都びとだけでなく、多くの地方庶民の歌も含まれています。日本全国、その地域ならではの自然観や季節感を感じることができるのも万葉集の特色といえます。

こうした家持ゆかりの地域を巡り、和歌の世界観を知ることが、例え現代の生活環境や社会通念が変わろうとも、自然を尊び、人を愛し、死を悼む、といった、直接的で、素朴な日本人の心情に大きな隔たりがないことに改めて気づかされます。

環境問題が深刻なりし今こそ、古より自然を敬い、尊んできた日本人の精神性を問いなおすべきであり、「万葉集」は、それを学ぶ最高の教科書です。

また、本イベントでは、和歌に優れた英訳詩を付け、世界に発信も試みます。和歌を通し、家持の世界観を知ること、外国の方々も関西や太宰府だけでなく、そこから現存する家持ゆかりの他の地域へ足を運んで頂く新たなゴールデン・ルートの構築となるに違いありません。さらに、100年後の子供たちにも万葉集に詠まれる日本の四季が理解されるよう、自然環境や気候変動に配慮し、日本の最先端技術の結集である水素燃料電池より電源を調達し、CO2を出さないように試みます。自然への敬意が、「万葉の時代から令和の時代」へと連綿と紡がれていることも重ねて発信致します。

一般社団法人 令和・家持ネットワーク協議会（2020年1月記）

本事業では、「令和の万葉大茶会」と連携し、「観光庁 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」を活用しながら、太宰府の観光振興・地域経済の活性化を目指します。

旅人と家持

令和ゆかりの地「太宰府」にて開催

「令和」は、日本最古の歌集である万葉集を典拠とし、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められて制定されました。

万葉集の編纂者とされる大伴家持の父である大伴旅人が大宰帥（長官）として赴任していた時、当時はめずらしかった梅の花を愛で、32首の歌を詠みあった「梅花の宴」は、まさにうるわしいひとときであったことでしょう。当時13歳だった家持が、まぶしい瞳で見ていたことは想像にかたくありません。

太宰府大会は、まさに、その「梅花の宴」が行われていた場所であり、ルーツとなる地です。そうした場所でコロナ禍明けの最初の令和大茶会が開催されることについて、不思議な運命を感じます。

（大伴旅人は、西暦727年から729年頃、大宰府の長官として赴任していたといわれています。恐らく、梅花の宴が太宰府にて行われた際は、大伴旅人が62歳ごろ（生誕を西暦665年として試算）、大伴家持が9歳ごろ（生誕を西暦718年として試算）と考えられます。その後、家持は、14歳ごろで、旅人と死別するという歴史が伝わっています。そして、大伴家持はその後「万葉集」を編纂したと考えられています。

まだ幼い家持も「梅花の宴」の様子を見ていたといわれています。晩年を迎えた大伴旅人がどのような思いで、この「梅花の宴」に参加していたか、また、大伴家持がどのような思いで「万葉集」の編纂を行ったか考えると、日本の長い歴史を「人」が繋いできたということを実感できます。それとともに、「日本の歴史や文化」を、後世に、より良い状態で伝えていくことの重要性を、改めて感じる次第です。

本事業では、大宰府でしか実現できない、「令和の都だざいふでの梅花の宴再現」イベントの実施、「令和の大茶会開催」を2つの軸に、今後の日本の経済を支えるであろう観光業（インバウンド旅行者向け体験コンテンツ開発等）への取り組みを強化し、実施いたします。

（ぜひ、「令和の都だざいふ万葉大茶会」へのご参加をいただき、「古の時代」と「未来」をつなぐ、「現在」を感じるとともに、日本の歴史・伝統文化を後世に伝承する為の時間を共に過ごしていただければ幸いです。

何卒よろしくお願い申し上げます。

令和の都だざいふ万葉大茶会実行委員会

「太宰府」と「万葉集」との関係性について

万葉集

『万葉集』は、今から1200年ほど前に編纂された写本が現存する中では日本最古の歌集で、この中におさめられている梅花の歌の序文から元号「令和」は名づけられました。

梅花の歌は32首ですが、『万葉集』は全20巻からなり、じつに4500首の歌がおさめられています。この中では、「雑歌」（宴や旅に関する歌）、「相聞歌」（男女の恋に関する歌）、「晚歌」（人の死に関する歌）が詠まれています。

梅花の歌は、宴の席で、梅の花を愛でながら詠み比べた歌です。この宴（梅花の宴）を主催した大伴旅人の歌をご紹介します。

大伴旅人が詠んだ梅花の歌

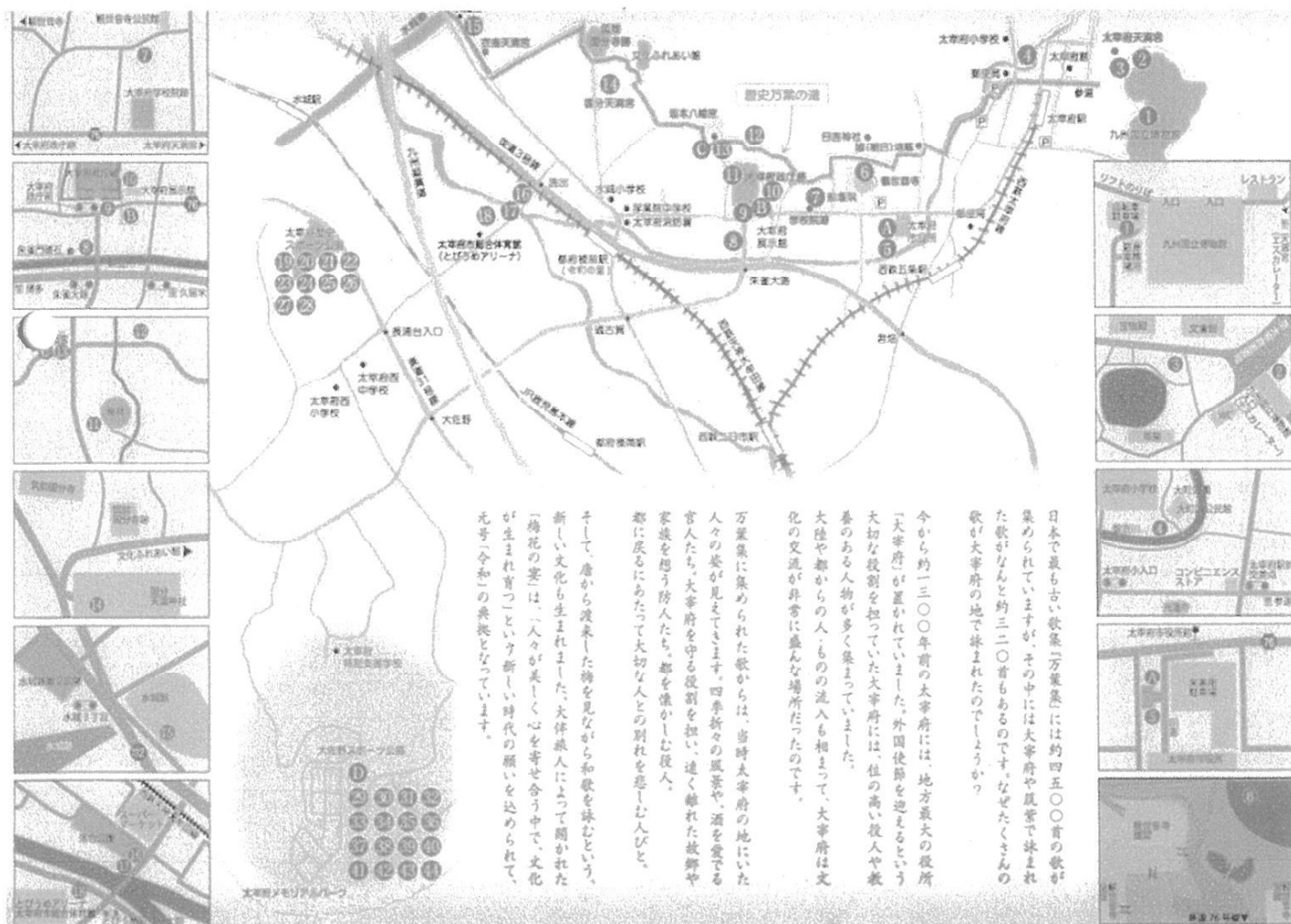
「わが園に 梅の花散る

ひさかたの 天より雪の 流れ来るかも」

現代語訳：「私の庭に梅の花が散る。（ひさかたの）天から雪が流れて来るのだろうか」

万葉歌碑めぐり

市内には、万葉集におさめられた歌を刻んだ石碑（万葉歌碑）が点在しています。歌が詠まれた時代に思いを馳せながら、歌碑を探してまちを散策するのもおすすめです。



事業概要

実施概要 1

本事業は、観光庁が主催する「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」の予算を活用し、実施されます。

一般型

万葉の世界を「令和の都ださいふ」に再現！
インバウンド向け万葉文化体験プログラム創出事業

福岡県太宰府市

<様式4>

令和の都ださいふ万葉大茶会実行委員会

事業概要	福岡県太宰府市は、『日本遺産古代日本の「西の都」〜東アジアとの交流拠点〜』の中心地であり、豊かな歴史と文化が伝承される地域です。日本の現在の年号「令和」は、約1300年前に、ここ太宰府の地で行われた「梅花の宴（ばいけのえん）」を記した『万葉集』の「梅花の歌」三十二首の序文にあると発表されています。以来、『新元号「令和」発祥の地」として有名です。また、年約12万人（内日本人約640万人、インバウンド旅行者約272万人、2016年実績）を受け入れる九州を代表する観光地です。一方で、「宿泊客が少なく、経済効果が限定的」、「ホテルを立地する場所の不足」等の課題があり、体験価値を高め、高付加価値かつ高単価な体験コンテンツ・イベントコンテンツの開発が必要となっています。本事業を通じ、 太宰府が持つ「万葉の歴史・文化を体験できる」という価値あるイベント を、それを今後継続的に実施、販売していくことにより、太宰府のインバウンド対応力を強化を実現します。	これまでに活用した観光庁事業 看板商品創出事業 域内連携促進事業 誘客多角化事業 ※上記当てはまる場合はボックスに○記入
実施体制	令和の都ださいふ万葉大茶会実行委員会、太宰府市、一般社団法人 太宰府観光協会、大宰府万葉会、令和・高付加価値ネットワーク協議会（他（実施確定後、地域内事業協力団体も追加募集予定））	1次公募での応募の有無 ※1次公募に応募した場合は、ボックスに○記入 実行委員会の立ち上げとモニター実証メニューの確定、実施時期・手法確定
地域の課題	①地域に、比較的多くのインバウンド観光客が来訪している（2016年：約272万人）が、インバウンド受入環境の整備、ソフト面・ハード面両面で課題があります。特に、体験型の有料コンテンツが不足している。インバウンド観光客による地域観光消費を向上させ、受け環境整備を推進する必要がある。 ②太宰府に来訪するインバウンド観光客の動向や客層、ニーズ等に関する情報が多く、インバウンド対策が難しい状態です。 ③インバウンド観光客が地域内観光をスムーズに楽しめるようなサイン・看板設置や案内のバリエーション等が不足しています。 ④インバウンドのマナー・対応、文化の違いや、モラルの面で、一部、インバウンド観光客を敬遠する市民も存在する。相互理解と相互尊重ができる環境の醸成が必要。	
造成するインバウンド向け観光コンテンツの内容	本年度、太宰府市では、「令和・高付加価値ネットワーク協議会」連携した「令和の万葉大茶会 太宰府大会」が開催されます。このイベントと連携し、太宰府市にてインバウンドを対象とした「万葉の時代をテーマとしたイベント」を開催、本事業を活用することで、「万葉の世界を太宰府に再現」することで、インバウンド向けの「有料体験プログラム」の開発・実施・販売まで、一気通貫し、取組を実施します。 ①インバウンド向け万葉文化体験プログラムの創出・コンテンツ化 「万葉の世界を太宰府に再現」をテーマに、年号「令和」の由来となった「梅花の宴」の再現をメインとした、体験型コンテンツを開発、コンテンツ化を作成する。具体的には、「万葉の時代を学ぶ、茶会体験」、「万葉時代の衣装を着ての徒歩とフォトハンティングツアー」、「万葉の文化芸術体験」等を中心に、専門家とも連携し、5コンテンツを目標に「インバウンド向け体験コンテンツ開発」をコンテンツ化します。 ②実証イベントの開発とイベントの制作 「令和の万葉大茶会 太宰府大会」と連携した実証イベントを開催、①にて開発したインバウンド向けコンテンツのモニター実証を実施。対象は、太宰府に観光に来る観光客、福岡県に住む外国人を想定。コンテンツの評価測定と、アンケートを通じた磨き上げを実施。茶会の会場として、通常利用が不可能な太宰府天満宮 文書館を利用、太宰府天満宮が天皇の行在所（あんざいしよ）として建築したもので、その場所を中心、万葉の世界を再現します。また、インバウンド対応に必要なサインや看板に関する検証を行います。 ③商品化・販売体制の構築 専門家とも連携し、コンテンツ化の磨き上げ、開発した商品の販売チャネル構築、販売を開始する（磨き上げの過程で、コンテンツの融合などが考えられるため、目標販売商品数は2に設定）。インバウンドによる、観光消費額の拡大を目指します。	「万葉の世界を太宰府に再現」をテーマにインバウンド向けコンテンツ開発 「令和の万葉大茶会 太宰府大会」と連携したモニター実証と、商品化
アピールポイント（独自性、地方誘客や観光消費拡大への効果など）	●『日本遺産古代日本の「西の都」〜東アジアとの交流拠点〜』の発展的活用による事業です。 ●通常利用が不可能な太宰府天満宮 文書館（太宰府天満宮が天皇の行在所（あんざいしよ）として建築）を利用し万葉の世界を再現する、意欲的な取り組みです。 ●令和の由来となった万葉の世界観「梅花の宴」を現在に再現する、歴史の舞台となった、太宰府でしかできない内容です。 ●太宰府市にて、「令和」をテーマにした、インバウンド向けのイベントを実施するのは初めての試みです。 ●「梅花の宴」、「太宰府の歴史」は日本の元号である「令和」の由来とも言われており、今回の事業は、古代日本の歴史や文化をインバウンド用にカスタマイズする試みとして、大客観的な取組であると認識しています。 ●本事業では、「和歌の英訳化」「和歌を活用したインバウンドコンテンツ開発」にも取り組みます。 ●SNSを活用し、令和の里から「和歌及びそれを生んだ古代日本のすばらしさ」を世界に発信し、誘客につなげます。	
スケジュール	①2023年9月：実行委員会正式立ち上げ。②2023年9月～2024年1月：委員会での協議と、小規模モニター実証を開催・コンテンツ開発及びコンテンツ化。③2024年2月に「令和の万葉大茶会 太宰府大会」と連携した大規模体験実証イベントを開催。 ④検証・磨き上げ後、2月中に商品化・販売できる体制を作ります。	

実施概要 2

本事業は、大きくは、下記の3つのステージにて実施されます。

大茶会参加者は、これらを巡る形で、インバウンド対応を含めた、太宰府ならではの茶会を体験します。また、下記のいずれも、インバウンド対応・高付加価値化という要素を含んだ取り組みを実施します。

①大宰府政庁跡エリア

記念式典、梅花の宴再現イベント

②太宰府天満宮エリア

令和の万葉大茶会

③両エリア共通

体験型コンテンツ開発実証実験

太宰府大会 実施イメージ



太宰府政庁跡エリア実施イメージ

＜梅花の宴再現イベント＞
＜クリーンエネルギーを活用した、
歴史的史跡の観光活用＞

- 11:00 受付開始
プラム・カルコアにて
(福岡県太宰府市観世音寺1丁目3-1)
イベント参加者着付け
- 12:00 プラム・カルコア～
太宰府政庁跡 パレード
- 12:30 梅花の宴再現イベント開催
- 14:00 梅花の宴イベント終了
- 14:15 太宰府天満宮駐車場へ
バスにて移動
- 14:30 太宰府天満宮参道パレード

※雨天時は、中央公民館で実施

インバウンド対応・高付加価値化ポイント

- 梅花の宴用の新規衣装の制作
- 梅花の宴の再現性を高める為の備品制作
- 梅花の宴多言語パンフレット制作
- 梅花の宴イベントへの外国人観光客誘客
- 記念式典内容の検討と今後の観光活用
- 記念式典の多言語案内制作
- 全体を通じた、インバウンド対策

太宰府天満宮エリア実施イメージ

＜令和大茶会イベント＞

- 11:00 関係者集合
- 13:00 野点による茶会開催
- 14:30～15:45
文書館内にて、来賓者による茶会開催
(約30名程度を想定)
- 16:00 野点による茶会終了

インバウンド対応・高付加価値化ポイント

- 外国人観光客を中心とした観光客に対する、「お茶」を通じた実証実験。
- インバウンド向けチラシの制作
「万葉、お茶、マナー」の要素を入れる。
- サイネージ制作の検討
- インバウンド向け体験サービスの実証実験

来賓者の動き

各地から、太宰府市へ
大宰府政庁跡にて集合

※JR博多駅よりバスを運行予定（11：30出発）

記念式典 12：30～13：00

場所：大宰府政庁跡（〒818-0101 福岡県太宰府市観世音寺4丁目6-1）

内容は詳細別紙記載。

主なプログラムは、開催にあたっての、各代表のごあいさつが中心。

「令和の都だざいふ」ならではの場所にて、式典を実施いたします。

梅花の宴再現イベント見学 13：00～14：15

場所：大宰府政庁跡

梅花の宴再現イベントの見学。希望者は大宰府展示館見学、坂元八幡宮見学等。その後、バスにて、太宰府天満宮へ移動。

バス

令和の万葉大茶会 14：30～15：45

場所：太宰府天満宮文書館及びその周辺を予定

政庁跡より、バスにて、太宰府天満宮へ移動。太宰府天満宮参道を、万葉衣装パレードを行いながら、文書館へ移動。

文書館にて、茶会に参加。来賓30名は文書館内にて。それ以外の方は野点にて実施。

講演会 16：00～18：00

場所：九州国立博物館 ミュージアムホール（〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4丁目7-2）

内容は詳細別紙記載。

主なプログラムは、講演会、各参加自治体プレゼンテーション、木簡伝達式

修了

博多駅までのバスを運行

会費制にて、交流会を開催

19：00～ ホテル日航福岡（福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目18-25）

大宰府政庁跡イベント

記念式典（オープニングセレモニー）

現在、大宰府政庁内にて実施。
約20分にて開催（スケジュールは別紙）



大宰府政庁跡での「万葉集 梅花の宴再現」を実施。

大宰府政庁跡は、7世紀後半から12世紀後半、大宰府は行政機関として九州を統括し、西の都としての役割を果たしました。地理的に日本の外交と防衛の最前線、アジア大陸の窓口としても機能したことから、重要な政治の中核として大宰府の中心地に政庁が建設されたのです。

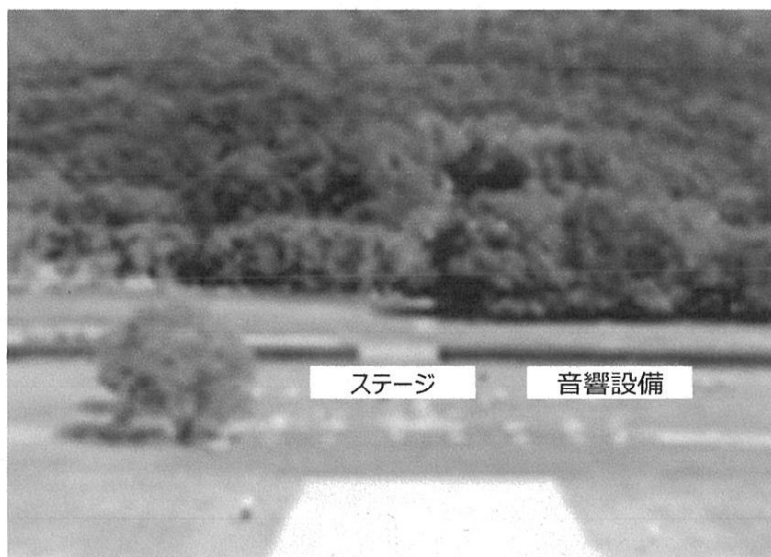
このエリアでは、「梅花の宴」再現イベントを実施。



記念式典の運営

- ①大宰府政庁跡にて、祈念式典を開催。
- ②電源は、クリーンエネルギー（水素エネルギー）を活用。
- ③「クリーンエネルギー×歴史的史跡」によるイベント」の実証実験を行う。
- ④内外への情報発信力も高いと考えられる。

※ただし、このような利用方法が可能かは、文化財課等とも調整が必要。



イメージ



記念式典の運営

運営団体：実行委員会+令和・家持ネットワーク協議会

●担当者：事務局長 山田

●スタッフ人数

・司会：あわた かれん 氏

・ディレクター：1名

・誘導：10名

●スケジュール

大会名：令和の万葉大茶会 太宰府大会を開会します。

司会紹介+地元太宰府市生まれ

①開会のあいさつ 不老会長 5分

②太宰府市長によるお言葉 5分

③観光庁 観光地域振興部・資源課長によるお言葉 5分

④閉会の言葉 御田宮司 3分

※現在、伊藤環境大臣参加を検討中。ご参加の場合は、お言葉をいただく予定。

●準備物

・看板

・ステージ

・音響設備

●スタッフ配置

●導線の検討・決定

式典会場→梅花の宴再現イベントエリアへ移動（雅楽演奏によるおもてなし）

（希望者は、坂元八幡宮、太宰府展示館 見学）※ガイド担当者を準備

→その後、バスにて太宰府天満宮へ移動

●上記終了後、スクリーンにて、太宰府市の観光関連の映像を、流す（15：00頃まで）。

「万葉集 梅花の宴再現」の運営

毎年行われる「梅花の宴 再現」をベースに実施。「外国人の参加の促進」「事前プロモーション」「多言語チラシ・サインの制作」にてインバウンド向け対応を実施する。

●運営団体：大宰府万葉会

●ご担当者：松尾セイ子様

●スケジュール

11：00 プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館）に集合・着替えを行う。
※4F多目的ホール、3F和室が可能かを確認（現在、ホールと控室のみ手配）。
※着替えは、大宰府万葉会スタッフにて着付けを担当。
※荷物は、貴重品以外をまとめ、九州国立博物館へ移動。

12：00 プラム・カルコア→大宰府政庁跡会場へのパレード
※万葉の衣装を着用し、行進を行う。
※防人役が、四神、太陽、月、太宰府市の旗を持って更新。

13：00 雅楽によるオープニング後、梅花の宴再現 開催
梅花の宴開始のあいさつ
防人のあいさつ
松尾先生の案内
序文朗読
梅花の宴

14：15 終了後、バスにて、太宰府天満宮駐車場に移動。
着後、太宰府天満宮参道を万葉衣装にてパレード
※記録映像撮影

●スタッフ配置

誘導スタッフ5名、カメラマン1名、動画収録1名

●導線の検討・決定

●着替え場所

プラム・カルコア太宰府内の研修所が確保可能化検討

●検討中

- ①水素エネルギーによる暖房器具設営
- ②水素エネルギーにてあたためた梅が枝餅を見学者に配布。
※「グリーンエネルギー×歴史文化イベント」の実証実験を行う。
※ただし、上記は、この後に行われる「野点」の際に実施することも検討。

プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館） ※雨天時利用

プラムカルコア（福岡県太宰府市観世音寺1丁目3-1）予約状況

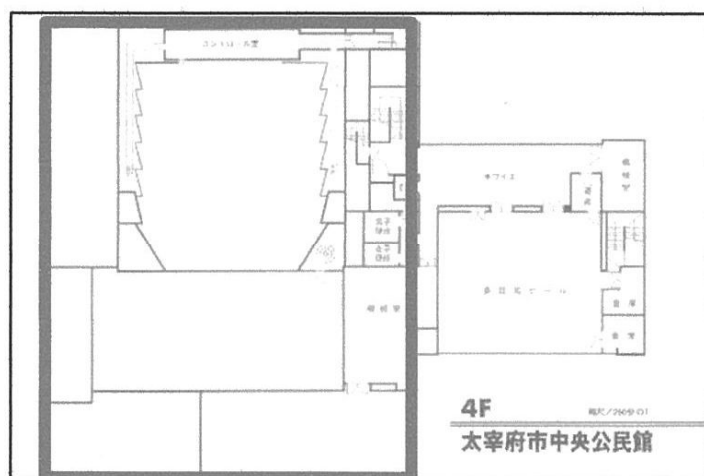
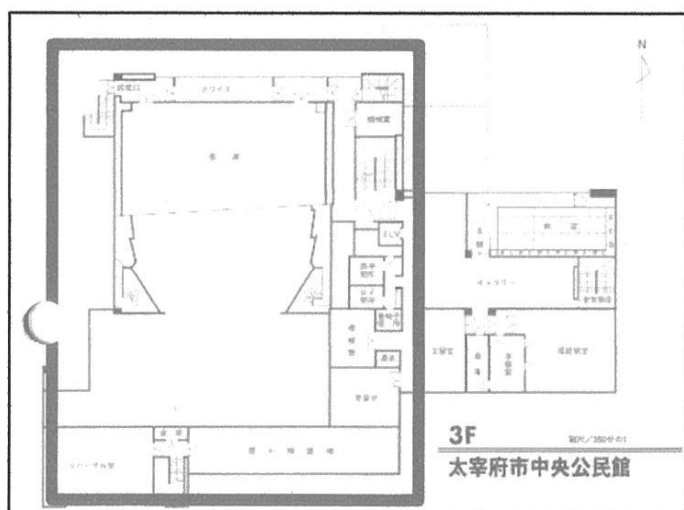
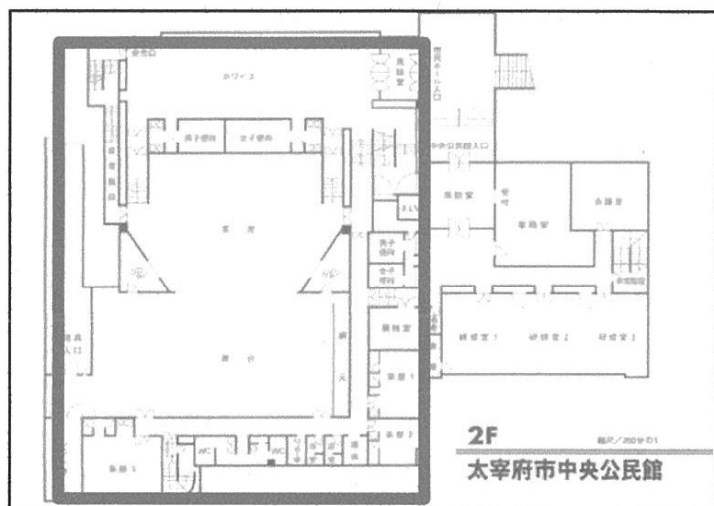
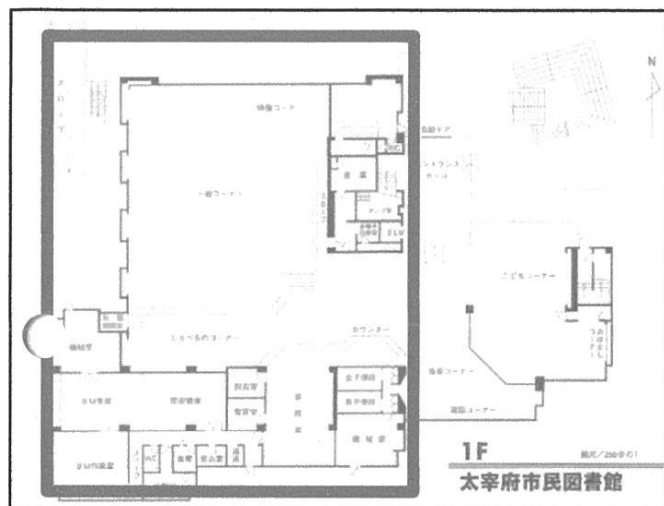
雨天時の対応及び、本事業にて活用を想定し、現在、下記のエリアを予約済。

2/9,10

日時：2月9日・10日両日 9時～22時 舞台客席・楽屋1・2・3

「梅花の宴再現」受付設置

2/10（土） 11：00～ 1Fにて、参加者受付を実施。



プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館）-大宰府政庁間の距離：徒歩約15分



プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館） ※雨天時利用

予約状況

雨天時の対応及び、本事業にて活用を想定し、現在、下記のエリアを予約済。

2/9,10

ホール棟（大ホール及び控室）及び研修等の4階大ホールを除いた会議室

市民ホール客席



- 定員：602席
- 飲食・喫煙禁止

楽屋1



- 面積：12畳（和洋室）
- 喫煙禁止

楽屋2



- 面積：8畳（和室）
- 喫煙禁止

楽屋3



- 定員：24人
- 面積：41平方メートル
- 備品：机4、椅子24
- 喫煙禁止

「古の時代」と「未来」をつなぐ。

わが園に梅の花散る
ひさかたの天より雪の
流れ来るかも



旅人と家持
令和ゆかりの地を訪ねて

令和の 万葉 大茶会

2023年度 太宰府大会
～ 令和の都 だざいふ ～



日時：令和6年2月10日（土）

会場：福岡県太宰府市 大宰府政庁跡・太宰府天満宮文書館
九州国立博物館 ミュージアムホール

ようこそ「令和の都 だざいふ」へ。 歴史とともに、皆様をお迎えいたします。



令和の都だざいふ万葉大茶会
実行委員会 会長

不老 安正

「初春の令月にして気淑く風和らぎ 梅は鏡前の粉を抜き 蘭は珮後の香を薫らす」

「令和」は、日本最古の歌集である万葉集に掲載された上記の歌を典拠とし、制定されました。そして、太宰府市は、その「梅花の宴」が実際に行われた地であります。「万葉集」・「梅花の宴」の原点と言えるこの地で、皆様をお迎えできることに、喜びと感謝を感じております。

万葉集の編纂者・大伴家持の父である大伴旅人が、大宰帥（長官）としてこの地に赴任していた時、当時めずらしかった梅の花を愛で、32首の歌を詠みあった「梅花の宴」は、当時、13歳だった家持に影響を及ぼしたと考えられます。その後、大伴家持は成長し、「万葉集」の編纂者として、後世に名を残すとともに、日本に、唯一無二の文化資産を生み出すこととなります。

「令和の万葉大茶会」は、これまで、「東京」「高岡」「鳥取」にて開催されてまいりました。今回、コロナ禍以降、初めての開催を、「万葉集」・「梅花の宴」の原点である「太宰府」にて行わせていただくことも、新しい時代に向かって象徴的な事であると感じるとともに、厳しい状況下、本事業のバトンをリレーしていただいた各地の大会関係者の皆様には深く感謝申し上げます。今回の太宰府大会を通じて、そのバトンを、しっかりと次の多賀城市様及び、それ以降に開催の地にお渡ししたいと考えております。

今回の大会では、その「梅花の宴」が行われたと言われる大宰府政庁跡にて、「梅花の宴 再現」を行います。オリジナルに限りなく近い場所で、古代の風景を現代によみがえらせる取り組みであり、太宰府ならではの自負しております。時期的にも、2月は梅のシーズンであり、「梅花の宴」が実際に開催された時期に近い時期となっています。

太宰府市には、万葉ゆかりの地として、「大宰府政庁跡」、「大宰府展示館」、「坂本八幡宮（大伴旅人邸候補の1つ）」を中心に、多くの施設があります。また、太宰府市のもう一つの観光の拠点である「太宰府天満宮」は、インバウンド観光客にも大変人気がある場所です。現在、「御本殿」は124年ぶりの“令和の大改修”が行われています。約3年間を要する大改修にあたり、その期間は御本殿前に「仮殿」が建設されておりますが、その造形美から、大変高い評価を得ています。今回は、限られた時間ではございますが、ぜひ、そうした地もご訪問いただければ幸いです。

未来へこの自然を伝えていくために、水素エネルギーを活用し、広く発信していきます。

旅人・家持親子のこの地での生活に思いをはせつつ、皆様とともに、文化・歴史・未来を共有できることを感謝し、あいさつの言葉とさせていただきます。

巻5・822 大伴旅人

わが園に 梅の花散る

ひさかたの 天より雪の 流れ来るかも

〔現代語訳 わが庭に梅の花が散る。天から雪が流れて来るのだろうか。〕

新元号「令和」は、万葉集巻五「梅花の歌」の漢文の「序」（じょ）からの出典です。

「初春の令月にして、気淑く 風和らぎ、

梅は鏡前の粉を抜き、蘭は珮後の香を薫らす（梅花の歌三十二首并せて序）」



令和の 万葉大茶会

初春の令月にして 気淑く風和ぎ

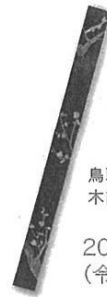
春のよき日、甘い花の香りにつつまれて、歌を詠みあう人々がいた。
それは、万葉と令和の物語の始まり。



東京大会
木簡
2020年度
(令和2年)



高岡大会
木簡
2021年度
(令和3年)



鳥取大会
木簡
2022年度
(令和4年)

2019年度
(令和元年)

730年
(天平2年)

旅人、「梅花の宴」を催す

一月、大宰帥・大伴旅人の邸宅で、宴会が開かれる。
唐から渡ってきた美しい花木「梅」を見ながら、
三十二首の歌が詠まれた。

軽井沢G20環境関係閣僚会合「令和の大茶会」開催

2020文化庁日本博事業
「令和の万葉大茶会 東京大会」開催

多摩川に さらす手作り さらさらに
なにそこの児の ここだかなしき
(巻十四 3373 東歌)

「令和の万葉大茶会 2021高岡大会」開催

馬並めて いざ打ち行かな
洪谿の 清き磯廻に 寄する波見に
(巻十七 3954 大伴家持)

「令和の万葉大茶会 2022鳥取大会」開催

新しき年の始の 初春の
今日降る雪の いや重け吉事
(巻二十四 516 大伴家持)



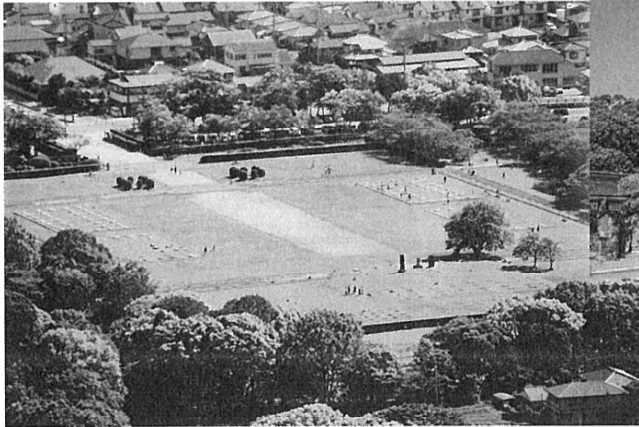
東京大会



高岡大会



鳥取大会



太宰府政庁跡



太宰府天満宮

EXPO
2025

大阪・関西万博

2025年度
(令和7年)

奈良県高市郡明日香村

大君は神にし坐せば
赤駒の葡萄ふ田井を都となしつ
(巻十九 4260 大伴御行)

宮城県多賀城市

大伴の遠つ神祖の奥つ城は
しるく標立て人の知るべく
(巻十八 4096 大伴家持)

2023年度
(令和6年)

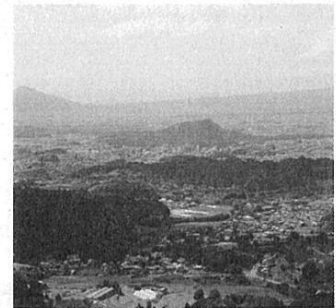
「令和の万葉大茶会 2023年度太宰府大会」開催

太宰府大会
木簡

わが園に梅の花散る
ひさかたの天より雪の流れ来るかも
(巻五 822 大伴旅人)



多賀城は、奈良・平安時代に陸奥国の国府が置かれたところで、奈良時代には鎮守府も置かれている。782年(天応2年)に65歳の家持が赴任。68歳で生涯を終えたとされる終焉の地。

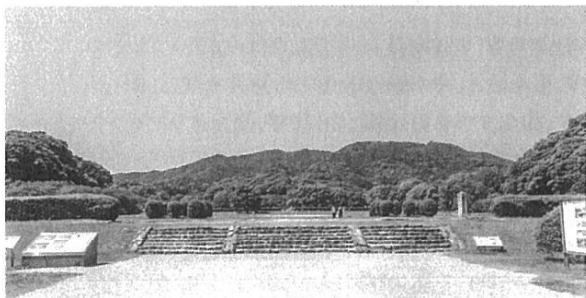


7世紀に建設された4時期(飛鳥岡本宮、飛鳥板蓋宮、後飛鳥岡本宮、飛鳥浄御原宮)の宮殿遺跡が残る。中央集権律令国家の誕生の地であり、「日本人の心の故郷」である。

太宰府における 万葉ゆかりの地



大宰府政庁跡

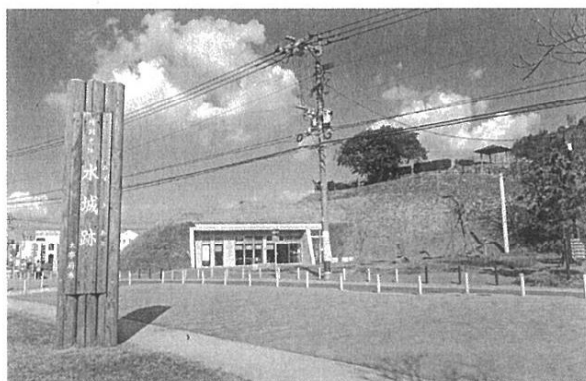


大宰府政庁跡は、7世紀後半から12世紀後半にかけて九州を管轄する行政機関であった「大宰府」の中心的な遺跡です。菅原道真の漢詩から、「都府楼跡」の名でも親しまれています。

「大宰府」は万葉集の中で「遠の朝廷」と呼ばれ、その中枢となる大宰府政庁では、壁と回廊で囲まれた広大な空間に立派な建物と広場があり、重要な政務・儀礼が行われました。

長い年月のなかで当時の建物は失われていますが、古代の重要な場であったことは地域の誇りとして受け継がれており、明治時代には大宰府を顕彰する3つの石碑が建てられています。現在は、日本の歴史を象徴する特に重要な遺跡であることから国の特別史跡に指定されて、周辺の景観を保持しながら文化財として保護されています。

水城跡



水城跡は、現在の太宰府市と大野城市の市境あたりに築かれた防衛施設「水城」の遺跡です。

天智天皇2年(663)、日本は友好国であった百済を救援するために朝鮮半島に出兵したものの、唐・新羅連合軍に大敗を喫しました(白村江の戦い)。反撃を恐れた日本は、大急ぎで防衛のための施設・水城をつくります。

水城跡は7世紀の緊迫した国際情勢を物語る遺跡であり、日本の歴史を象徴する特に重要な遺跡であることから、国の特別史跡に指定され、周辺の景観を保持しながら文化財として保護されています。

水城館の前には、大伴旅人が3年間の大宰府任官を終え、都に戻る際に水城で詠まれたとされる歌の歌碑があります。

坂本八幡宮



坂本八幡宮は、大宰府政庁跡の北西にある、応神天皇を祭る神社です。もとは戦国時代に建てられたと伝わり、坂本地区の守り神として地元の人々によって大切に守られてきました。この場所は、いま、新元号「令和」の発祥の地として注目を集めています。

「令和」は、日本最古の歌集『万葉集』に掲載されている「梅花の歌三十二首あわせて序」を典拠として名づけられました。この歌が詠まれた「梅花の宴」は、天平2年(730)に大宰府の長官であった大伴旅人の邸宅で開催された宴でした。旅人邸の正確な場所は不明ですが、その候補地のひとつとして、坂本八幡宮の場所が考えられています。

太宰府天満宮



太宰府天満宮は、平安時代の9世紀後半に活躍した菅原道真を祭神とする神社です。日本や世界からも多くの参拝者が訪れています。

天満宮神苑内(大茶会会場周辺)には、梅花の宴において詠まれた、大伴旅人が梅の花が散る様を雪に見立て詠んだ歌と、その歌に対する歌の2つの歌碑があります。

九州国立博物館



九州国立博物館は、太宰府天満宮の隣に建つ博物館です。太宰府への国立博物館誘致は地域の長年の夢であり、九州の政財界や地元住民の尽力によって、平成17年(2005)に実現しました。現在も「市民との共生」をテーマとして、地域と協力して運営されています。

九州国立博物館のバス駐車場付近には、都に戻った大伴旅人に届いた沙弥満誓の歌への返歌として、旅人の帰京した心情を詠んだとされる歌の歌碑があります。

梅花の宴再現イベント 13:00~14:00 会場:大宰府政庁跡

730年、大宰府で盛大に開かれた梅花の宴。

今日は、「梅花の宴」を、大宰府万葉会を中心とした参加者が再現します。

正月立ち 春の来らば

かくしこそ梅を招きつつ 楽しきを経め

(巻五 815 大武紀卿)

梅の花今咲けるごと 散り過ぎず

わが家の園にありこせぬかも

(巻五 816 少式小野大夫)

梅の花咲きたる園の 青柳は

薙にすべくなりにけらずや

(巻五 817 少式粟田大夫)

春さればまづ咲くやどの 梅の花

ひとり見つつや 春日暮らさむ

(巻五 818 筑前守山上大夫(山上憶良))

世の中は 恋繁しゑや

かくしあらば 梅の花にも成らましものを

(巻五 819 豊後守大伴大夫)

梅の花今盛りなり

思ふどち かざしにしてな 今盛りなり

(巻五 820 筑後守葛井大夫)

青柳 梅との花を 折りかざし

飲みての後は 散りぬともよし

(巻五 821 笠沙弥(沙弥満誓))

わが園に 梅の花散る

ひさかたの 天より雪の流れ来るかも

(巻五 822 主人(大伴旅人))

梅の花散らくはいづく

しかすがに この城の山に雪は降りつつ

(巻五 823 大監伴氏百代(大伴百代))

梅の花散らまく惜しみ

わが園の 竹の林に鶯鳴くも

(巻五 824 少監阿氏奥島(阿倍奥島))

梅の花咲きたる園の 青柳を

護にしつつ 遊び暮らさな

(巻五 825 少監土氏百村(土師百村))

うちなびく 春の柳と

わが宿の 梅の花とをいかに分かむ

(巻五 826 大興史氏大原)

春されば 木末隠れて鶯そ

鳴きて去ぬなる 梅が下枝に

(巻五 827 少典山氏若麻呂(山口若麿))

人ごとに 折りかざしつつ 遊べども

いやめづらしき 梅の花かも

(巻五 828 大判事丹氏麻呂)

梅の花咲きて散りなば

桜花 継ぎて咲くべく なりにてあらずや

(巻五 829 葉師張氏福子)

万代に 年は来経とも

梅の花絶ゆることなく 咲きたるべし

(巻五 830 筑前介佐氏子首)

年のはに 春の来らば

かくしこそ 梅をかざして 楽しく飲まめ

(巻五 833 大令史野氏宿奈麻呂)

梅の花今盛りなり

百鳥の 声の恋しき 春来たるらし

(巻五 834 少令史田氏肥人)

鶯の 声聞くなへに

梅の花 我家の園に 咲きて散る見ゆ

(巻五 841 対馬目高氏老(高向老))

鶯の 待ちかてにせし 梅の花

散らずありこそ 思ふ子がため

(巻五 845 筑前壕門氏石足)

霞立つ 長き春日をかざせれど

いやなつかしき 梅の花かも

(巻五 846 小野氏淡理(小野田守))

プログラム

記念式典

会場：大宰府政庁跡

12:30～12:50

- ・主催者のあいさつ
- ・歓迎のあいさつ
- ・来賓のあいさつ

梅花の宴再現イベント見学

会場：大宰府政庁跡

13:00～14:00

梅花の宴のルーツ、太宰府にて、古代の風景を再現します。
ご希望の方は大宰府展示館見学、坂本八幡宮見学をご案内いたします。
その後バスにて、太宰府天満宮へ移動します。

令和の万葉大茶会

会場：太宰府天満宮文書館及び旧東屋（うぐいす茶屋横）

14:30～15:30

太宰府天満宮参道を万葉衣装でパレード後、2カ所に分かれ、
「令和の万葉大茶会」を開催します。

講演会・大会キー伝達式

会場：九州国立博物館 ミュージアムホール

16:00～18:30

- ・基調講演① テーマ：令和のふるさとで未来を考える ～地域がはぐくむ環境ビジネスとくらし～
講演者：平尾 禎秀 様（環境省 環境経済課長）
- ・基調講演② テーマ：旅人と家持
講演者：上野 誠 様（國學院大學文学部日本文学科 教授（特別選任）、奈良大学 名誉教授）
- ・各参加自治体による挨拶
[東京都 狛江市、富山県 高岡市、鳥取県 鳥取市、宮城県 多賀城市、奈良県 高市郡明日香村、鳥取県 倉吉市、埼玉県 行田市]
- ・福岡県と太宰府市より、宮城県多賀城市へ大会キー（木簡）の伝達

※上記終了後、ご希望者の方は、博多駅までのシャトルバスをご利用いただけます。

※交流会（希望者のみ）は、シャトルバスにてお送りします。

19:30～ ホテル日航福岡（福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目18-25）



大宰府政庁跡



太宰府天満宮



九州国立博物館



新元号「令和」の典拠となった万葉集「梅花の宴」を再現する

このプロジェクトは、日本最古の歌集たる万葉集、その編纂者とされる「大伴家持」の生涯にクローズアップします。幼少期に父である大伴旅人が赴任した地・大宰府にて、舶来の梅を植え、その梅花を愛でる酒宴を興じ、新元号「令和」の典拠ともなった「梅花の宴」を茶会形式で再現致します。記念すべき第1回は、2020年、東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、国の特別名勝・特別史跡に指定されている会場周辺の中央区・浜離宮恩賜庭園で実施されました。

その後は、家持の人生ステージごとに、赴任地である富山県高岡市(2021年度・秋)→鳥取県鳥取市(2022年度・冬)→福岡県太宰府市(2023年度)→宮城県多賀城市(2024年度)と巡り、最後は関西地域ゆかり(大阪府・奈良県高市郡明日香村)の大阪万博(2025年度・没後 1240年)での開催を目指します。特に多賀城市は、2024年に「多賀城創建 1300年」を迎え、東日本大震災からの復興の意味でも象徴的イベントとなります。

実に万葉集では、約4500首のうち、1700首以上で動植物の歌が詠まれており、まさに三首に一首が、ありのままの自然に心を寄せた歌です。家持は、特に季節を意識して歌を詠んだ歌人であり、全20巻のうち、巻八と巻十は、「四季の景物」をテーマに編纂された巻となっています。また、家持の生きた時代は万葉時代の最後期、天平文化華やかかなりし時代ですが、一方で権力争いも続いた時期です。そのため、万葉集には、北九州の防衛についた「防人歌」や東国庶民の「東歌」といった、都びとだけでなく、多くの地方庶民の歌も含まれています。日本全国、その地域ならではの自然観や季節感を感じることができるのも万葉集の特色といえます。

こうした家持ゆかりの地域を巡り、和歌の世界観を知ること、例えば現代の生活環境や社会通念が変わろうとも、自然を尊び、人を愛し、死を悼む、といった、直接的で、素朴な日本人の心情に大きな隔たりがないことに改めて気づかれます。

環境問題が深刻なりし今こそ、古より自然を敬い、尊んできた日本人の精神性を問いなおすべきであり、「万葉集」は、それを学ぶ最高の教科書です。

また、本イベントでは、和歌に優れた英訳詩を付け、世界に発信も試みます。和歌を通し、家持の世界観を知ること、外国の方々も関西や太宰府だけでなく、そこから現存する家持ゆかりの他の地域へ足を運んで頂く新たなゴールデン・ルートの構築となるに違いありません。さらに、100年後の子供たちにも万葉集に詠まれる日本の四季が理解されるよう、自然環境や気候変動に配慮し、日本の最先端技術の結集である水素燃料電池より電源を調達し、CO₂を出さないように試みます。自然への敬意が、「万葉の時代から令和の時代」へと連綿と紡がれていることも重ねて発信致します。

令和・家持ネットワーク協議会(2020年1月記)

本事業では、「令和の万葉大茶会」と連携し、

「観光庁 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」を活用しながら、
太宰府の観光振興・地域経済の活性化を目指します。

主 催 令和の都だざいふ万葉大茶会実行委員会
共 催 九州国立博物館
後 援 福岡県、太宰府市
協 賛 第一実業株式会社、株式会社エイブル、孫の手トラベル

助 成 観光庁、太宰府市
協 力 福岡市、九州大学 水素エネルギー国際研究センター
九州大学 洋上風力研究教育センター
企 画 一般社団法人 令和・家持ネットワーク協議会

記念式典 座席割り

狛江市 松原 様	坂本八幡宮 御田 様	太宰府天満宮 西高辻 様	太宰府市長 楠田 様	観光庁 大竹 様	環境大臣 伊藤 様	環境省 平尾 様	実行委員長 不老 様	九州大学 佐々木 様	多賀城市 深谷 様
狛江市 谷田部 様	鳥取市 木谷 様	鳥取市 山崎 様	鳥取市 田中 様	高岡市 本田 様	環境省 清水 様	元環境大臣 原田 様	多賀城市 加藤 様	多賀城市 森 様	多賀城市 宮城 様
狛江市 石井 様	古都太宰府保 存協会 清水様	エイブル 根本 様	エイブル 中馬 様	倉吉市 福井 様	行田市 新 様	明日香村 作田 様	福岡県議会 宮原 様	太宰府市議会 門田 様	福岡県議会 渡辺 様
狛江市 栗山 様	高岡市 笹島 様	多賀城市 郷古 様	多賀城市 伏谷 様	多賀城市 中野 様	多賀城市 森 様	多賀城市 米澤 様	多賀城市 鈴木 様	鳥取市 金指 様	山陰万葉を歩く 会 川島
狛江市 辻村 様	高岡市 寺井 様	多賀城市 江口 様	多賀城市 津川 様	多賀城市 山路 様	多賀城市 佐藤 様	多賀城市 千葉 様	多賀城市 本間 様	鳥取市 山田 様	鳥取市 由宇 様
狛江市 鈴木 様	高岡市 筏井 様	多賀城市 和泉 様	多賀城市 高橋 様	多賀城市 小野 様	多賀城市 大場 様	多賀城市 大内 様	多賀城市 根本 様	多賀城市 田畑 様	鳥取市 上山 様
狛江市 西山 様	高岡市 津幡 様	高岡市 宮田 様	多賀城市 三浦 様	多賀城市 松村 様	多賀城市 阿部 様	多賀城市 齋藤 様	多賀城市 池田 様	多賀城市 岸本 様	鳥取市 横山 様
			実行委員会 今村 様	明日香村 木治 様	明日香村 小野 様	太宰府市議会 陶山 様			

... ご登壇者

... ご登壇者

... ご登壇者

... ご登壇者

ステージ

1	肩書 お名前	竹	2	肩書 お名前	多賀城市観光協会 会長 宮城 順 様
3	肩書 お名前		4	肩書 お名前	多賀城市議会議長 森 長一郎 様
5	肩書 お名前		6	肩書 お名前	鳥取市文化財団理事長 木谷 清人 様
7	肩書 お名前		8	肩書 お名前	因幡万葉朗唱会会長 田中 道春 様

1	肩書 お名前	松	2	肩書 お名前	福岡県 知事 服部 誠太郎 様
3	肩書 お名前		4	肩書 お名前	福岡県 知事夫人 服部 敦子 様
5	肩書 お名前		6	肩書 お名前	太宰府天満宮 宮司 西高辻 信宏 様
7	肩書 お名前		9	肩書 お名前	実行委員会 会長・太宰府観光協会 会長 不老 安正 様

1	肩書 お名前	梅	2	肩書 お名前	福岡県茶生産組合連合会 会長 桐明 和久 様
3	肩書 お名前		4	肩書 お名前	福岡県議会 議員 宮原 伸一 様
5	肩書 お名前		6	肩書 お名前	福岡県 観光局長 山北 智子 様
7	肩書 お名前				

1	肩書 お名前	緑	2	肩書 お名前	
3	肩書 お名前		4	肩書 お名前	一般社団法人 太宰府観光協会 事務局長 今村 巧児 様
5	肩書 お名前		6	肩書 お名前	鳥取市教育委員会事務局副教育長 岸本 吉弘 様
7	肩書 お名前			肩書 お名前	TAP多賀城 副代表 江口 哲也 様

1	肩書 お名前	福	2	肩書 お名前	国府町自治会長 会長 山田 準二 様
3	肩書 お名前		4	肩書 お名前	太宰府市議会 議長 門田 直樹 様
5	肩書 お名前		6	肩書 お名前	元環境大臣、前衆議院議員 原田 義昭 様
7	肩書 お名前		8	肩書 お名前	太宰府市議会 議員 陶山 良尚 様

1	肩書 お名前	寿	2	肩書 お名前	TAP多賀城 三浦 百合子 様
3	肩書 お名前		4	肩書 お名前	TAP多賀城 和泉 光俊 様
5	肩書 お名前		6	肩書 お名前	高岡万葉ロータリークラブ 万葉同好会 副会長 宮田 淳也 様
7	肩書 お名前				

1	肩書 お名前	月	2	肩書 お名前	多賀城市議会議員 根本 朝栄
3	肩書 お名前		4	肩書 お名前	多賀城市議会議員 阿部 正幸
5	肩書 お名前		6	肩書 お名前	多賀城市議会議員 齋藤 裕子
7	肩書 お名前				

1	肩書 お名前	雪	2	肩書 お名前	多賀城市議会議員 鈴木 新津男 様
3	肩書 お名前		4	肩書 お名前	多賀城市議会議員 千葉 文昭 様
5	肩書 お名前		6	肩書 お名前	多賀城市議会議員 大場 和晃 様
7	肩書 お名前				

世界遺産大

2024 1.2 Tue - 3.24 Sun
令和6年 | 火 | | 日 |

福岡アジア美術館 FUKUOKA ASIAN ART MUSEUM
福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル 7 階 TEL:092-263-1100 FAX:092-263-1105
7F, Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan

THE GREAT SILK ROAD

Honoring 45 Years of Peace and Amity between Japan and China

WORLD HERITAGE
EXHIBITION

日中平和友好条約45周年



《馬福象旅杯》
5-7世紀/1997年イリ市昭蘇県がマ古墓出土/
一級文物/イリ州博物館



福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>



【会場】福岡アジア美術館 7階企画ギャラリー

【観覧時間】午前9時30分～午後6時(入室は午後5時30分まで)

※ギャラリー入室は閉室30分前まで

【休館日】水曜日(ただし、1月3日と3月20日は開館、3月21日は休館)

【観覧料】一般1,600円(1,500円) 高大生1,000円(900円)

小中生600円(500円)

※()内は20名以上の団体・前売り料金 ※再入場不可

前売販売期間=10月28日(土)10:00～1月1日(月)

販売場所:ARTNEチケットオンライン、美術展ナビチケットアプリ、ローソンチケット
(Lコード:82044)、チケットぴあ(Pコード:686-663)、イープラスほかにて販売。

本展の半券でアジア美術館「福岡アジア美術館ベストコレクション」展も御覧いただけます。

【主催】福岡アジア美術館、中国文物交流中心、読売新聞社、FBS福岡放送、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス

【企画協力】黄山美術社 【企画】東京富士美術館 【後援】外務省、中国人民対外友好協会、中国大使館、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、NIB長崎国際テレビ、KKT熊本県民テレビ、KYT鹿児島読売テレビ

シルクロード展



世界遺産認定後、中国国外で初めて開催される大規模展

世界遺産 THE GREAT SILK ROAD WORLD HERITAGE 大シルクロード展 EXHIBITION

日中平和友好条約45周年 Honoring 45 Years of Peace and Amity between Japan and China

東洋と西洋を結ぶシルクロードは、地球の四分の一の周にも及ぶ壮大な「旅路」です。古代から交易の路として栄え、各地で多様な民族が興亡し、多彩な文化が開花してきました。人と物が、時には命をかけて草原や砂漠、雪山を越えてこの路を行き交い、駱駝の背にゆられて運ばれた文物は、遙か遠くの奈良へももたらされています。本展覧会では、洛陽、西安、蘭州、敦煌、新疆地域などの要衝で発見された、シルクロードの遺宝を紹介いたします。ペルシャの香り漂う文物や、東西文明が融合して生まれた絵画に金銀細工の宝飾品、インドから東漸した仏教文化の至宝など、シルクロード文化の精華は、あらためて人類の英知と限りない可能性を感じさせてくれることでしょう。とくに今回は、遣唐使など日本との縁が深い唐時代を中心とした名品を紹介するとともに、2014年に世界遺産に登録された遺跡の遺品も展示いたします。

27か所の主要博物館や研究所から200点もの文物や関連資料が出品



一〇文物(日本の国宝に相当)45点の展示
金銀宝飾品、青銅器、ガラス、陶磁器、壁画、絵画、染織、経典、仏像など

- 1.《六花形銀杯》唐・8世紀／一級文物／山西博物院
- 2.《如来像 壁画》7-8世紀／2002年タンガンウィクCD4仏寺遺跡出土／新疆ウイグル自治区博物館
- 3.《菩薩坐像》唐・7-8世紀／2000年洛陽市奉先寺遺跡出土／一級文物／龍門石窟研究院
- 4.《唐花文銀鞋》唐・8世紀／1968年トルファン・アスターナ古墓381号墓出土／一級文物／新疆ウイグル自治区博物館
- 5.《唐馬図》唐・乾封元年(666)／1991年陝西省礼泉唐墓出土／一級文物／昭陵博物館
- 6.《妙法蓮華経巻第一 断簡》北朝・5-6世紀／1900年敦煌莫高窟出土／一級文物／敦煌研究院
- 7.《観世音菩薩普門品 断簡》麹氏高昌国・建昌5年(559年)／1980年トルファン・ベゼクリク石窟出土／トルファン博物館
- 8.《貼付門文高脚杯》6-7世紀／1989年新疆ウイグル自治区クチャ県シムシム石窟出土／一級文物／新疆ウイグル自治区博物館
- 9.《ササン式銀貨》7世紀／鳥谷県出土／新疆ウイグル自治区博物館
- 10.《鳳首杯》唐・8世紀／1982年西安市韓森寨出土／一級文物／陝西歴史博物館
- 11.《マニ教ソグド語の手紙》11世紀初め／1981年トルファン・ベゼクリク石窟第65窟出土／一級文物／トルファン博物館
- 12.《女子像》唐・8世紀／1959年西安市中堡村唐墓出土／一級文物／陝西歴史博物館

大シルクロード展 関連企画

古楽器で辿る シルクロード 演奏&トーク



出演 | カテリーナ古楽器研究所
日時 | 2024年1月21日(日)午後2時予定
場所 | 福岡アジア美術館7F アートカフェ
料金 | 無料(事前申込不要)
主催 | (公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡市
共催 | 福岡アジア美術館



福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>
Tel. 092-263-1100 Fax. 092-263-1105

〒812-0027 福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル 7 階
7F, Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan

交通案内

[市営地下鉄] 中洲川端駅 <6番出口>

[西鉄バス] 川端町・博多座前

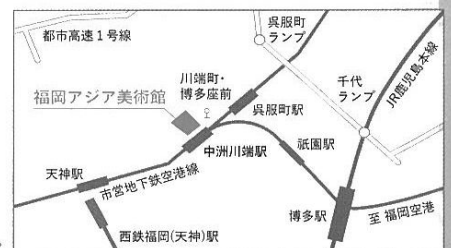
[車] 太宰府方面から

都市高速千代ランプより 7分

北九州方面から

都市高速呉服町ランプより 5分

※リバレイン地下駐車場<有料>へは、
昭和通りの中央分離帯からお入りください。



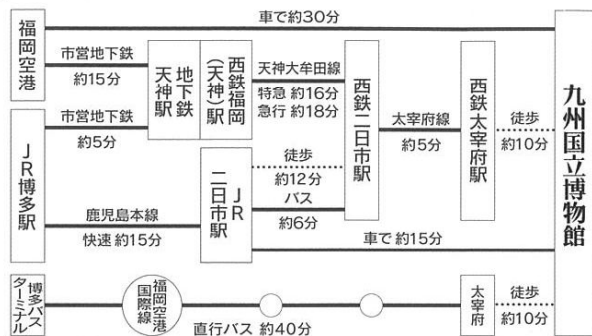
[お問合せ先]

西日本新聞イベントサービス TEL:092-711-5491
(平日午前9時30分〜午後5時30分)

※会期中のお問合せは福岡アジア美術館(TEL:092-263-1100)へ

※次の方は無料となります。身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人とその介護者1名、特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人。※大学生以下の方は展示室入口にて学生証や生徒手帳をご提示ください。※会期中の電子チケットは当日料金での販売です。電子チケットは購入の際にプレイガイドによって各種手数料が発生する場合があります。

交通のご案内



九州自動車道利用

太宰府 IC または筑紫野 IC から
高雄交差点経由 (約 20 分)

福岡都市高速利用

水城出口から高雄交差点経由 (約 20 分)

※駐車場(有料)には限りがございますので、予めご了承ください。



ご利用案内

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

夜間開館日は午後 8 時まで開館(入館は午後 7 時 30 分まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)、年末

4 階 文化交流展観覧料 一般 : 700 円、大学生 : 350 円

最新の情報は、当館ホームページ等にてご確認ください。

- ※ 障害者手帳等をご持参の方とその介護者 1 名は無料です。4 階展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。
- ※ 高校生以下・18 歳未満および満 70 歳以上の方は無料です。4 階展示室入口にて生年月日わかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。
- ※ キャンパスメンバーズの方は無料でご観覧いただけます。4 階展示室入口にて学生証、教職員証等をご提示ください。
- ※ 特別展(3 階)は別料金です。



九州国立博物館

〒818-0118

福岡県太宰府市石坂4-7-2

(太宰府天満宮横)

www.kyuhaku.jp

アクセス情報



ご案内

ハローダイヤル 050-5542-8600 ※日本語のみ対応

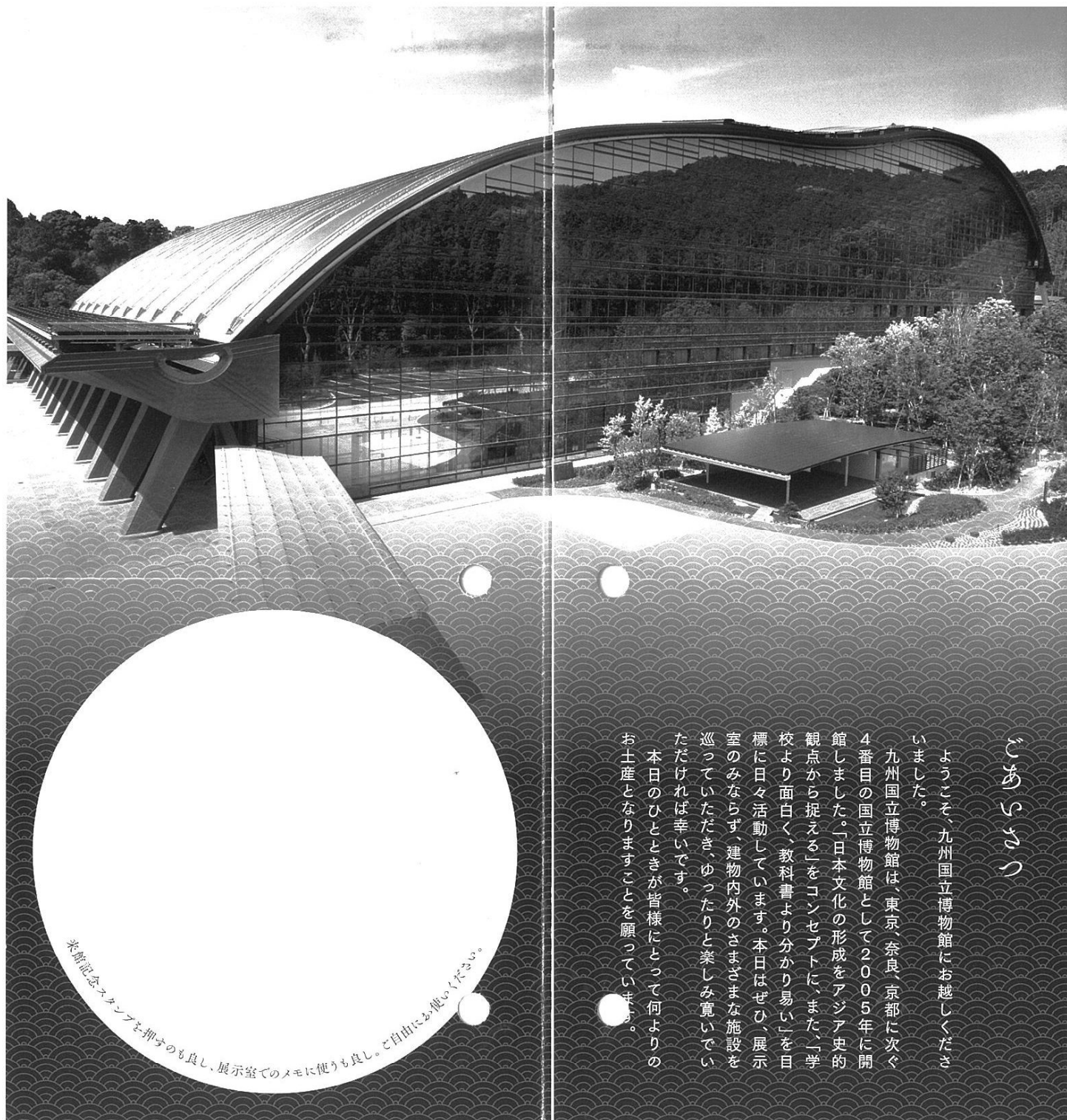
午前 9 時～午後 8 時 [年中無休]

2024.1



九州国立博物館

日本語



ごあいさつ

ようこそ、九州国立博物館にお越しくださいました。

九州国立博物館は、東京、奈良、京都に次ぐ4番目の国立博物館として2005年に開館しました。「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」をコンセプトに、また、「学校より面白く、教科書より分かり易い」を目標に日々活動しています。本日はぜひ、展示室のみならず、建物内外のさまざまな施設を巡っていただき、ゆつたりと楽しみ寛いでいただければ幸いです。

本日のひとときが皆様にとって何よりのお土産となりますことを願っています。

米館記念スタンプを押すのも良し、展示室でのメモに使うも良し。ご自由に楽しんでください。

1F エントランスホール

壁は全面ガラス張りで自然光が差し込み、天井には九州各地の間伐材を使用。周囲の森と一体化した雰囲気の中でゆっくりお寛ぎください。

ミュージアムショップの営業日・時間は博物館に準じます。
※状況により営業を行っていない場合があります。



体験型展示室

あじっば

無料

あじっばとは「アジアのはらっぱ」のこと。日本と交流のあったアジアやヨーロッパの国々の文化を、五感で楽しむことができます。



ミュージアムショップ

ポストカードや文具、「きゅーはくの絵本」をはじめとした書籍などたくさんのラインナップでお待ちしています。

TEL 092-918-8818



レストラン いい乃じ

九州産黒毛和牛の「すき焼き御膳」など、地元の食材を使ったメニューをお楽しみいただけます。

営業時間
11:00~17:00
(L.O. Food 16:00)
Drink 16:30



Mカフェ

八女茶等のご当地ドリンクのほか、シフォンケーキはじめ各種スイーツも好評です。

営業時間
10:00~17:00
(16:30 L.O.)



ミュージアムホール (288席)

講演会やコンサートなど様々な催しを開催しています。

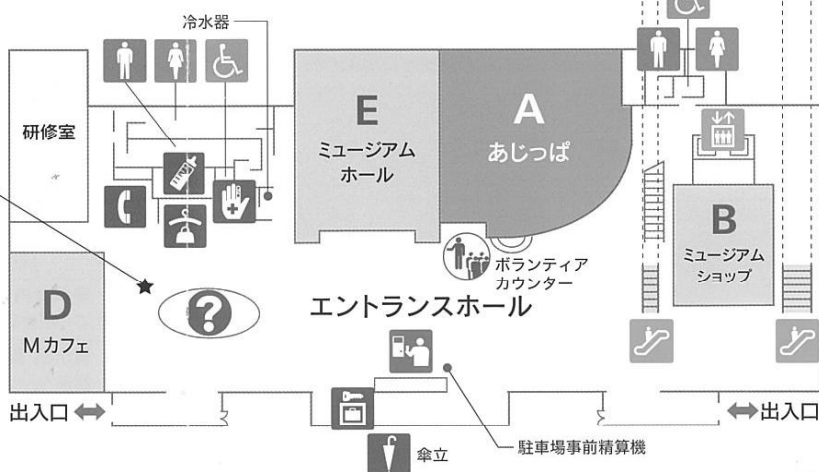


ご友人やご家族との待ち合わせに
総合案内所の大きな時計が目印です。

太宰府天満宮
アクセストンネル

C

レストラン
いい乃じ



SNSでも情報発信中!!

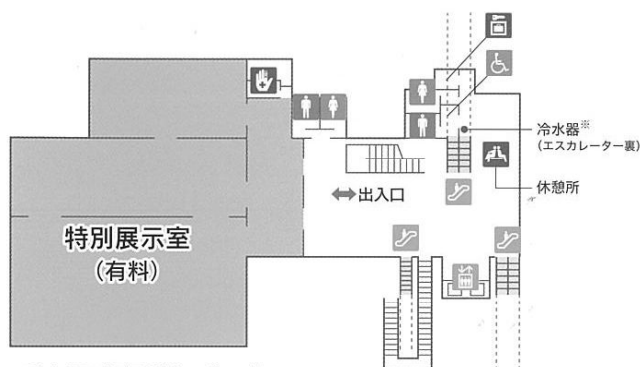
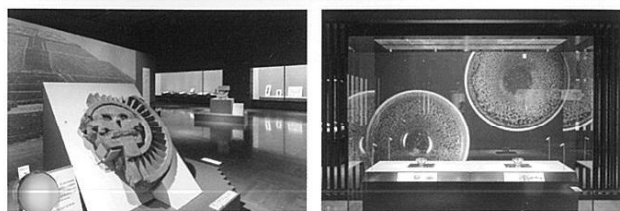
YouTubeやX、Instagram、Facebookに
九博や文化財情報をアップしています。



フォローを
お願いします!

3F 特別展示室 (有料)

観賞に最適なシックで落ち着いた空間に、国内外の名宝、至宝が集います。ごゆっくりご覧ください。



特別展示室・文化交流展示室(平常展)の観覧券は
券売所(券売所)でご購入いただけます。

※特別展示室の観覧券は、1階のみのお取り扱いとなります。

4F 文化交流展示室(平常)

テーマは「海の道、アジアの路」。
日本がアジアやヨーロッパとの出会いの中で育んできた数
文化交流によって世界が広がっていく様子をたどる「時間



12世紀～16世紀

アジアの海は 日々これ交易

モンゴルの襲来や海を越えた
禅僧たちの交流、国際的な貿
易商人たちの活動など、海を
舞台に展開した時代の息吹
が感じられます。



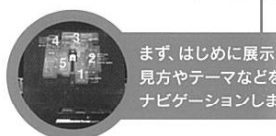
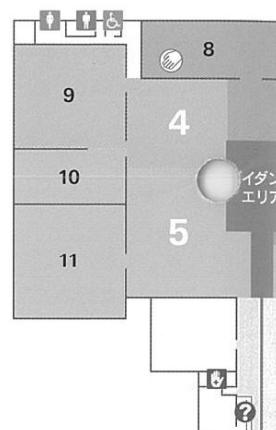
16世紀～19世紀

丸くなった地球 近づく西洋

大航海時代のヨーロッパとの
出会い、「四つの口」を通じた
世界との交流と、多彩な江戸
時代の文化を紹介。

5つの

展示室は、大きく5つの
テーマに分かれており、
「テーマカラー」によって
ご案内します。旅の道し
るべとしてご利用ください。

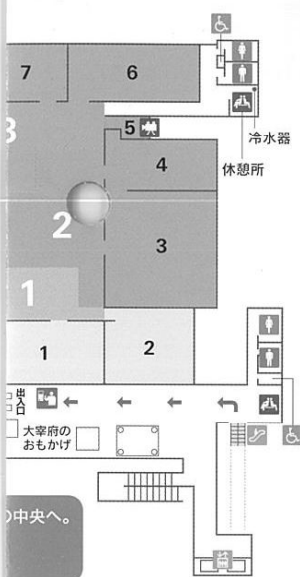


展) (有料)

の歴史のドラマ、
「行」をぜひ体感してください。

テーマ

1	緑：旧石器～縄文時代
2	赤：弥生～古墳時代
3	紫：飛鳥～平安時代
4	青：鎌倉～室町時代
5	橙：安土桃山～江戸時代



3万5千年前～紀元前4世紀

縄文人、海へ

旧石器・縄文時代における文化
交流を、土器や石器などの力強
い造形品により紹介。

3



7世紀～12世紀

遣唐使の時代

中国・朝鮮半島との交流に
よって唐から律令や仏教を受
け入れ、古代国家が成熟して
いく様子を紹介。

2



紀元前4世紀～紀元後7世紀

稲づくりから 国づくり

弥生時代に広まった水田稲
作、多くの品々を墓に納めた
王たち。古墳時代に渡来した
新しい焼き物や騎馬文化、宗
像・沖ノ島への奉獻品などを
紹介。



寄贈者顕彰室

当館に寄贈いただいた貴重な文化財を展示して
います。「色絵松竹梅文瓶子」や葛飾北斎筆「日
新除魔図」(ともに重要文化財)は必見です。



金子量重記念室 ～アジアの民族造形～

1,000点を超える貴重なコレクションを寄贈い
ただいた金子量重氏の名を冠した展示室。アジ
アの多彩で豊かな生活文化をお楽しみください。

「触れる」マップ

立体出力や点字を使った「触知図」
を設置しています。

展示ガイド

スマートフォンアプリ「NaviLens」
を活用し、音声や写真、文字などで
ガイドを聞いたり、見たりできます。



みんなで守ろう! きゅーはくマナー



有害な虫やカビから文化財を守るため、館内では、飲食ができる
場所を制限しています。(アメ・ガム・ペットボトル飲料を含む)

大きな荷物はクローカー・コインロッカー、傘(日傘を含む)は傘立て
にお預けください。

ペットの同伴はご遠慮ください。(ほじょ犬は入館可)

館内での喫煙はご遠慮ください。

お酒に酔った方の入館はご遠慮ください。

写真撮影について 3階: 展覧会により撮影の可否が異なります。
4階: 一部の作品を除き、撮影が可能です。

展示室内では、携帯電話の電源を切るかマナーモードに設定し
てください。

展示品・展示ケースのガラスには手を触れないでください。
展示ケースの上に物を置かないでください。

展示室内では鉛筆のみをご利用ください。

大きな声での会話はご遠慮ください。

ベンチに寝ころんだり、走ったりしないでください。

展示室の床は、音が響きやすくなっています。下駄やハイヒール
など大きな音の出やすい履き物の方は、他のお客様のご迷惑に
ならないようご協力をお願いします。

※展示や設備は予告なく変更することがあります。